

IAUD Newsletter vol.11 第 12 号(2019 年 3 月号)

1. 「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019 in バンコク」開催速報…………… 1
2. IAUD 3 月の予定……………15



UD による持続可能な発展 バンコクから世界へ発信

「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019 in バンコク」開催速報



「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019 in バンコク」開会式の様子

初の海外での開催となった「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019 in バンコク」が 3 月 4 日(月)から 6 日(水)までの 3 日間、モンクット王工科大学ラートクラバン校(タイ・バンコク)で行われ、世界各国から多数のご参加をいただき大変盛況のうちに終了いたしました。

今回のテーマは、国連が 2030 年までの達成目標としている「持続可能な開発目標(SDGs)」に呼応した「UD による持続可能な発展」。タイで国際会議を開催することで、SDGs の目標達成に向けて UD が貢献できることを、タイをはじめとする ASEAN(東南アジア諸国連合)、そして世界へ発信することを狙いとしてしました。

また、サブテーマは「産業振興、地域振興、高齢社会、観光と UD」とし、世界各国からの専門家による基調講演やセッション、論文発表を通して、これまでに進展した研究や活動成果が披露されました。

さらに、一般市民にも親しみやすい内容での UD 公開ワークショップも実施し、UD をより多くの人に理解していただく大変よい機会となりました。

今号の Newsletter では、会期 3 日間の開催報告を写真を中心にをご紹介します。

UD2019 初日 3月4日(月曜日)

快晴のお天気に恵まれた中、モンクット王工科大学ラートクラバン校コンベンションホール内メインホールにおいて開会式や公開シンポジウムなどが開催されました。

会期中の情報保障については、すべてのセッションに英語、日本語、タイ語の同時通訳をレシーバーで聴講できたほか、前方スクリーンには英語とタイ語と日本語との同時字幕の投影、さらに壇上には日本語の手話通訳が用意されました。

また、今回は音のUD化支援システム「SoundUD」を搭載したスマホ向けアプリケーション「おもてなしガイドアプリ」を活用した字幕配信サービスにも対応し、会議内容を13言語に翻訳してリアルタイムにご提供しました。

会場の総合受付は、同校のタイ人スタッフ多数により対応していただきました。また、最寄り駅やホテルから会場までのシャトルバンも運行されました。



会場のモンクット王工科大学
ラートクラバン校コンベンションホール



受付では参加者にIDパスが渡された



(右写真)会期中に無料運行されたシャトルバン

■10時～11時 開会式

共同ピーアール(株)会長の古賀尚文組織委員会会長による開会の辞の後、ワチラロンコーン王枢密院顧問官のスラユット・チュラーノン氏より来賓のご挨拶がありました。

続いて来賓のご挨拶として、安倍晋三内閣総理大臣のビデオメッセージが放映されました。安倍総理大臣からは、「持続可能なUD社会の実現という共通の目標に向けて、各国の皆さんで有意義な意見交換や相互交流が行われることを、またその成果が世界に発信され、人類の未来に大いに貢献されることを心から期待します」と、大変励みとなるメッセージを頂戴しました。

さらに、来賓のご挨拶として在タイ日本国大使の佐渡島志郎氏、歓迎のご挨拶としては開催地を代表してモンクット王工科大学学長のスチャットチャヴィー・スワンサワ氏(ビデオメッセージ)、障害者エンパワメント事務局長のタナポーン・プロムスワン氏からもお言葉を賜りました。



司会のKYO(写真中央)。ステージ両側には日本語、英語、タイ語の同時字幕を投影

その後、共催の挨拶として ERIA 東アジア・アセアン経済研究センター特別顧問の山中燦子氏よりお言葉を頂戴した後、日本フィランソロピー協会理事長の高橋陽子氏からの閉会の辞をもって終了しました。

総合司会は、メロディーと歌詞を入力すると歌声をつくるヤマハの技術「VOCALOID」の男性3人組ユニット「ZOLA Project」のリーダーである KYO (声優:宮崎 湧氏)が務めました。



左から古賀組織委員会会長、チュラーノン氏、佐渡嶋氏、スワンサワ氏、プロムスワン氏



左より山中氏、高橋氏

開会式会場の様子

■12 時 30 分～16 時 公開シンポジウム

世界各国で UD を推進する専門家をお迎えしての基調講演とパネルディスカッションが行われました。

総合司会は声優の宮崎湧氏が務めました。



司会の宮崎氏→

◆基調講演 1:ユニヴァーサルデザインによる持続可能な発展 ロジャー・コールマン(王立芸術大学院名誉教授:英国)

王立芸術大学院ヘレンハムリンセンターを設立し、高齢化社会に対応する新しいデザインを政府や企業に提言しているコールマン氏より、今回の会議のテーマである「UD による持続可能な発展」に沿って、これまで UD が促進してきた社会的変化と UD の役割について、具体的な事例を挙げながらお話しいただきました。



基調講演会場の様子



コールマン氏

◆基調講演 2: 災害をはね返す社会のカーひとの力からインフラの力までー
山中 燐子(国際津波防災学会代表／
ERIA 東アジア・アセアン経済研究センター総長特別顧問)

平和構築の人材育成や人間の安全保障、人為的及び自然災害の予防や被害軽減に取り組んでいる山中氏より、世界災害の約 40%がアジアで発生している現状を踏まえ、非常時、緊急時の対応を阪神淡路大震災や東日本大震災などの事例を交えながら、UD の視点でお話していただきました。



山中氏

◆パネルディスカッション: ユニヴァーサルデザインによる地域開発

世界各国から UD の有識者 5 名をお迎えし、都市のインフラ基盤及び都市生活におけるアクセシビリティ整備について、米国、スペイン、英国、タイ、ドイツでの UD による地域開発の事例が紹介されました。

会場からも多数の質疑応答があり、熱心な議論が行われ、翌日からの各セッションや論文発表、ワークショップに取り組む参加者の意識を高めることになりました。



パネルディスカッション会場の様子

パネリスト:

ヴァレリー・フレッチャー(人間中心デザイン研究所所長: 米国)
フランセスク・アラガイ(デザインフォーオール財団代表: スペイン)
ラーマ・ギーラオ(王立芸術大学院ヘレンハムリンセンター所長: 英国)
アンティカ・サウスリ(モンクット王工科大学建築学部長: タイ)
トーマス・バーデ(IUD ユニヴァーサルデザイン研究所所長: ドイツ)
司会進行: 山中 敏正(筑波大学教授: 日本)



司会進行の山中氏→



左よりパネリストのフレッチャー氏、アラガイ氏、ギーラオ氏、サウスリ氏、バーデ氏

※基調講演とパネルディスカッションの概要は IAUD Newsletter vol.12 第 1 号(2019 年 4 月号)に掲載します。

■16 時 20 分～18 時 IAUD 国際デザイン賞 2018 プレゼンテーション／表彰式



国内外より応募のあった 22 件のエントリーの中から、IAUD 国際デザイン賞 2018 審査委員会による厳正・中立な審査の結果、「大賞」には「災害対策本部から住民まで一貫したユニバーサルな総合防災ソリューション」（富士通（株）／富士通デザイン（株））が選定されました。

また、各部門の「金賞」11 件、「銀賞」4 件、「IAUD 国際デザイン賞」6 件も発表され、ロジャー・コールマン審査委員長より講評が述べられました。

その後、大賞と金賞受賞者にはコールマン審査委員長と古瀬敏実行委員長より表彰状が授与され、大賞と金賞受賞者によるプレゼンテーションも行われました。

また、会場内コンベンションホール・フォワイエでは、会議期間中に受賞した取り組みを紹介した映像が放映されました。

※受賞結果と審査講評の詳細は下記のリンクをご覧ください。

IAUD 国際デザイン賞 2018 受賞結果発表：<https://www.iaud.net/award/10936/>

IAUD 国際デザイン賞 2018 審査講評：<https://www.iaud.net/award/10938/>

※大賞と金賞受賞の取り組みの内容は IAUD Newsletter vol.12 第 1 号（2019 年 4 月号）より順次紹介します。



大賞、金賞受賞者

■18 時 30 分～20 時 歓迎レセプション

会議出席者への歓迎の意を表すと共に本会議の成功を祈念して、コンベンションホール・フォワイエにてレセプションが開催されました。

まずは古賀尚文組織委員会会長による開会の挨拶の後、モンクット王工科大学医学部長のアナン・スリキアットカチョルン氏とモンクット王工科大学建築学部長のアンティカ・サウスリ氏による歓迎の挨拶、ERIA 東アジア・アセアン経済研究センター特別顧問の山中燐子氏による乾杯のご発声がありました。

さらに、JETRO 日本貿易振興機構バンコク事務所所長の三又裕生氏、国連 ESCAP アジア太平洋経済社会委員会の秋山愛子氏から来賓の挨拶がありました。

その後、参加者間で和やかな歓談が行われ、NPO サインセンター理事長の太田幸夫氏のご挨拶で終了しました。



歓迎レセプション会場の様子



左から古賀組織委員会会長、スリキアットカチョルン氏、サウスリ氏、山中氏



←左から三又氏、秋山氏、太田氏

■展示会 12 時～18 時

3 日間にわたり展示ホールにて、IAUD 研究部会の説明と 7 つのグループ(標準化研究ワーキンググループ、住空間プロジェクト、余暇の UD プロジェクト、メディアの UD プロジェクト、衣の UD プロジェクト、ワークスタイルプロジェクト、手話用語サブワーキンググループ)の活動を紹介したパネルが展示されました。



展示会場の様子

UD2019 2 日目 3 月 5 日(火曜日)

2 日目はメインホールにおいて、世界各国から専門家をお迎えし、会議サブテーマである「高齢化社会の UD」「産業振興の UD」「地域振興の UD」に沿ったセッションが実施されました。

また、セミナールームでは論文発表セッションが、展示ホールでは市民にも親しみやすいテーマでの UD 公開ワークショップが行われ、多くの一般市民や学生にご参加いただきました。

※各セッションの概要及び UD 公開ワークショップの報告は IAUD Newsletter vol.12 第 2 号(2019 年 5 月号)に掲載します。



セッション 1 会場の様子

■9 時 40 分～10 時 20 分 セッション 1 高齢社会における UD1 基調講演:高齢化と SDGs、アジア健康構想

駒澤 大佐(ERIA 東アジア・アセアン経済研究センター総長特別顧問)

司会進行:久保 雅義(大阪芸術大学特任教授:日本)



講演する駒澤氏と司会進行の久保氏

■10 時 40 分～12 時 00 分 セッション 2:産業振興による UD 1
 パネルディスカッション:イノベーションと UD



左からパネリストのエイクハウグ氏、クロリウス氏、ギーラオ氏、司会進行のサワスリ氏

パネリスト: オンニ・エイクハウグ (EIDD デザイン
 フォーオール・ヨーロッパ会長: ノルウェー)

ウィア・クロリウス (人間中心デザイン研究所ユー
 ザー・エキスパートラボ部長: 米国)

ラーマ・ギーラオ (王立芸術大学院ヘレンハムリンセン
 ター所長: 英国)

司会進行: アンティカ・サワスリ (モンクット王工科大
 学建築学部長: タイ)



セッション 2 会場の様子

■13 時～14 時 20 分セッション 3:産業振興による UD 2
 パネルディスカッション:ユーザーフレンドリーデザイン&サービス



左からパネリストのバーデ氏、中尾氏、大山氏、司会進行の森氏

パネリスト: トーマス・バーデ (IUD ユニヴァーサルデ
 ザイン研究所所長: ドイツ)

中尾 洋子 (パナソニック(株)デザイン戦略室先行開
 発課課長: 日本)

大山 繁樹 (日経 BP 社シニアエディター: 日本)

司会進行: 森 秀男 (IAUD 衣の UDPJ 主査: 日本)



セッション 3 会場の様子

■14 時 40 分～16 時 セッション 4:地域振興における UD 1
 パネルディスカッション:持続可能な UD 社会



左からパネリストの是澤氏、スリソム氏、岩瀬氏、司会進行の益田氏

パネリスト: 是澤 優(国際連合人間居住計画アジア太平洋事務所長: 日本)
 サワン・スリソム(チュラロンコン大学: タイ)
 岩瀬 大地(東京造形大学准教授: 日本)
 司会進行: 益田 文和((株)オープンハウス代表: 日本)



セッション 4 会場の様子

■16 時 20 分～17 時 40 分 セッション 5:地域振興における UD 2
 パネルディスカッション:建築・デザイン系大学の教育的役割



左からサワスリ氏、チュタプルティコルン氏、フレッチャー氏、ジットカジョンワニット氏、トイチャルーン氏

パネリスト:
 アンティカ・サワスリ (CDAST タイ建築学部長協議会会長: タイ)
 リティロン・チュタプルティコルン (バンコク大学建築学部長: タイ)
 ヴァレリー・フレッチャー (人間中心デザイン研究所所長: 米国)
 キットチャイ・ジットカジョンワニット (ワライラック大学建築学部長: タイ)
 ヌアンワン・トイチャルーン (カセサート大学建築学部助教授: タイ)
 司会進行: ジェームス・ハリソン (コーク大学建築教育センター: アイルランド)



司会進行のハリソン氏

■9時40分～12時 UD 公開ワークショップ 1-プロダクトデザイン-
「多様なユーザーと取り組む、製品のUD-」

多くの方に UD を理解していただくために、一般市民や学生など誰でも無料でご参加いただける UD 公開ワークショップを実施しました。

1 回目は、プロダクトデザインをテーマに、「誰一人も取り残さない」の切り口から、実用的なケトル製品をデザインするユーザー参加型ワークショップを行いました。

リーダー：荒井 利春（金沢美術工芸大学名誉教授：日本）



ワークショップ 1 の様子

■13時～15時30分 UD 公開ワークショップ 2-実践的研究-
「UD を理解するための使用者と専門家による現実に即した調査研究」

実践的研究をテーマに、プロセスの価値を理解するユーザー参加型のワークショップを、校内を移動しながら行いました。

リーダー：ヴァレリー・フレッチャー（人間中心デザイン研究所所長：米国）

助手：ウィア・クロリウス（人間中心デザイン研究所ユーザー・エキスパートラボ部長：米国）

ジェームズ・フシェッティ（人間中心デザイン研究所デザインフェロー：米国）



ワークショップ 2 の様子

■10時40分～17時40分 論文発表セッション

国内外から応募のあった 40 の論文の中から厳正な審査を通過した 23 の論文が 5 日と 6 日の 2 日間、テーマごとに 5 のセッションに分けて発表されました。

5 日はテーマ「都市」「建築」「住宅」「人間工学」が対象となりました。



論文を発表する執筆者

■10時～18時30分 ポスターセッション 1

国内外から応募のあった論文の中から、ポスター発表に適した 7 つの論文が掲示されました。

発表者がポスターの脇に立ち、説明や質疑応答に対応しました。



ポスターセッション

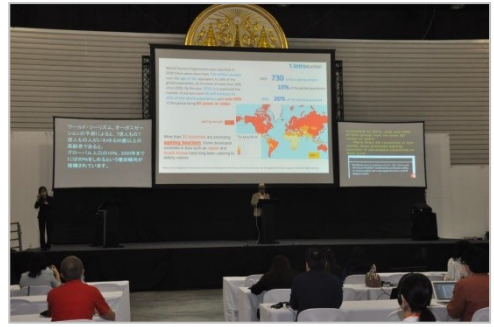
UD2019 最終日 3月6日(水曜日)

会議最終日には世界各国から専門家をお迎えし、メインホールにて今回の会議のサブテーマ「観光の UD」「高齢化社会の UD」に沿ったセッションや、3 日間にわたる会議全体を総括するセッションが行われました。

また、セミナールームでは論文発表セッションが、展示ホールでは2つの UD 公開ワークショップが実施されました。

閉会式では「優秀論文」と「国際 UD 宣言 2019」が発表され、3 日間の会議が無事に終了しました。

※各セッションの概要及び UD 公開ワークショップの報告は IAUD Newsletter vol.12 第 2 号(2019 年 5 月号)に掲載します。



セッション 6 会場の様子

■9 時 40 分～10 時 20 分 セッション 6:観光の UD1 基調講演:タイのインクルーシヴ・ツーリズム

トリラット・ジャルタック(チュラロンコン大学 UD センター所長:タイ)

司会進行:アンティカ・サワスリ(モンクット王工科大学建築学部長:タイ)



ジャルタック氏と司会進行のサワスリ氏

■10 時 40 分～12 時 セッション 7:観光の UD2 パネルディスカッション:観光の UD



左からパネリストのアラガイ氏、宮崎氏、瀬戸氏、荒井氏、司会進行の松森氏

パネリスト:フランセスク・アラガイ(デザインフォーオール財団代表:スペイン)

宮崎 湧(ZOLA Project 声優/Vocaloid:日本)

瀬戸 優樹(SoundUD 推進コンソーシアム事務局長:日本)

荒井 利春(金沢美術工芸大学名誉教授:日本)

司会進行:松森 果林(余暇の UDPJ 主査:日本)



セッション 7 会場の様子

■13 時～14 時 20 分 セッション 8: 高齢化社会における UD2
 パネルディスカッション: 高齢社会における UD-バリアフリーデザインと UD-



パネリストの秋山氏、ハリソン氏、ソクアイ氏、サワンチャレウン氏、司会進行の古瀬実行委員長

パネリスト: 秋山 愛子 (国連 ESCAP アジア太平洋経済社会委員会: 日本)

ジェームス・ハリソン (コーク大学建築教育センター: アイルランド)

サオワラック・ソクアイ (障害者インターナショナルアジア太平洋協議会: タイ)

チョムケット・サワンチャレウン (タマサート大学 UD センター: タイ)

司会進行: 古瀬 敏 (静岡文化芸術大学名誉教授 / 実行委員長: 日本)



セッション 8 会場の様子

■14 時 40 分～16 時 20 分 セッション 9: クロージングセッション
 パネルディスカッション: UD による持続可能な発展

国際会議全てのプログラムの総括として、各国の UD 関連団体の代表や専門家をパネリストにお迎えし、今回の会議テーマ「UD による持続可能な発展」について意見や感想を伺うとともに、成果は何か、また新たに明らかになったことや今後の UD 活動の方向性について活発な議論が行われました。

会場からも多数の意見が寄せられ、国際会議の締めくくりにあふさわしい充実した議論が行われました。



セッション 9 会場の様子



左からパネリストのコールマン氏、フレッチャー氏、アラガイ氏、高橋氏、古瀬実行委員長

パネリスト: ロジャー・コールマン(王立芸術大学院名誉教授: 英国)
ヴァレリー・フレッチャー(人間中心デザイン研究所所長: 米国)
フランセスク・アラガイ(デザインフォーオール財団代表: スペイン)
高橋 陽子(日本フィランソロピー協会理事長: 日本)
古瀬 敏(静岡文化芸術大学名誉教授/実行委員長: 日本)
司会進行: 川原 啓嗣(名古屋学芸大学大学院教授/IAUD 専務理事:
日本)



司会進行の川原専務理事

■10 時～11 時 30 分 UD 公開ワークショップ 3-サステナブルデザイン-
「サステナブルな社会のために UD が出来ること」

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向けて、
UD が貢献できることと矛盾ないしは調整すべきことにつ
いて検証しました。

リーダー: 益田 文和((株)オープンハウス代表: 日本)



UD 公開ワークショップ 3 の様子

■13 時～14 時 30 分 UD 公開ワークショップ 4-サステナブルツーリズム-
「サステナブルツーリズムのための UD」

UD の視点でツーリズムの課題を発見し、共有するワー
クショップを行いました。

リーダー: 岩瀬 大地(東京造形大学准教授: 日本)



UD 公開ワークショップ 4 の様子

■10 時 40 分～12 時 論文発表セッション
6 日はテーマ「人間工学」の論文が発表されました。



熱心に聴講する参加者

■8 時 30 分～12 時 00 分 ポスターセッション 2

■16 時 40 分～17 時 40 分 閉会式

声優の宮崎湧氏による司会で閉会式が開催されました。

古瀬敏実行委員長からの開会の辞の後、モンクット王工科大学建築学部長のアンティカ・サワスリ氏からお別れの挨拶がありました。

また、論文審査副委員長のヴァレリー・フレッチャー氏より国内外からエントリーのあった 40 の論文から優秀論文の発表があり、今回は "Development and Implementation of a VR Device Program to Encourage Squat Movements for Rehabilitation (Kiyomi Yoshioka/Meisei University)" が選出されました。

さらに、古瀬敏実行委員長から「国際ユニヴァーサルデザイン宣言 2019」(次頁ご参照)が読み上げられ、川原啓嗣専務理事の閉会の辞をもって 3 日間にわたる国際会議が閉幕しました。



閉会式会場の様子



左から宮崎氏、古瀬実行委員長、サワスリ氏、フレッチャー氏、川原専務理事

この度は「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019 in バンコク」開催に向け、皆様には様々な面で絶大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

お陰様で初めての海外での国際会議を全日程無事に終了することができました。

IAUD はこれからも、今回の国際会議で得たもの、課題となったものなど会議の総括をしっかりと行い、次のステップに繋がたいと考えています。

今後とも IAUD へのご指導ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

国際ユニヴァーサルデザイン宣言 2019

2002 年以来 IAUD 主催による会議が日本で 6 回開催され、今回はここバンコクで開催された「第 7 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2019」に結集しました。その目的は「ユニヴァーサルデザインによる持続可能な発展」をテーマとして豊富な知識に裏付けられた真摯な討議を行うことにあります。

ユニヴァーサルデザインは、単なる製品や環境、サービスのデザインにとどまるものではありません。ユニヴァーサルデザインは、誰もが参加でき、かつ持続可能な未来の社会のデザインで不可欠な役割を担うものです。タイでは社会が地方型から都市型へと移行し、全員参加型経済発展の手本となる大きな機会に恵まれており持続可能性の課題ははっきりしています。

それと同時に、今日の世界では分割と疎外が幅をきかせる悪い流れがあり胸が痛みます。こうした中で、私たちは、一丸となって世界に広がる不寛容の波をはねのけ、平等を求め、多様性を称え、私たちのすべての力を結集してこうした脅威と闘っていきます。

今回の大会はアジア諸国を始め世界各国・地域との新しい絆やネットワークを広げ、人間の多様性の称賛を基本とする全員型社会作りに向けたより充実した対話へと導いてくれることでしょう。

ワーキングセッションでは、UD には「2030 年国連持続可能な開発目標」の達成に向けて果たすべき基本的な役割があることが明らかになりました。その上に立ち、私たちは、これらの目標の達成に向けてあらゆる共感、情熱、経験を捧げていきます。

以上の信念を大会宣言といたします。

※「国際ユニヴァーサルデザイン宣言 2019」英語、タイ語は下記のリンクをご覧ください。
<https://www.ud2019.net/news/index190313.html>



2019 年 3 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
← 第 7 回国際 UD 会議 2019in バンコク @モンクット王工科大学ラートクラバン校 →						
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 春分の日 13:00～ 第 2 回理事会 @IAUD サロン	22 13:00～ 手話用語 SWG @IAUD サロン	23	24
25	26 13:30～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン	27	28 13:00～ 衣の UDPJ @IAUD サロン 16:00～ 第 2 回評議員会 @セルリアンタ ワー東急ホテル	29 13:30～ 標準化 WG @IAUD サロン	30	31

次号は 4 月上旬発行予定

特集:IAUD 国際デザイン賞 2018 受賞取り組み紹介①／UD2019 開催報告ほか

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン):

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階

電話:03-5541-5846 FAX:03-5541-5847 e-mail:info@iaud.net